

〈自分たちでつくるみんなの学校 ～挨拶と笑顔あふれる学校を目指して～〉



成美っ子

学校だより 令和7年度No.3

それいけ！ 1年生！！

第1学年担任 上田 芙美

成美小学校に赴任して2年目になりました。昨年度、赴任したばかりの私は、特別教室の場所から校時に至るまで、成美小学校で分からないことがあれば、すぐに子供たちに尋ねていました。教室の子供たちにいつも助けてもらっていた私ですが、今年度は1年生の担任です。子供たちを頼るわけにはいきません。ピカピカのランドセルを背負って入学してきた子供たちのきらきらとした笑顔に、身が引き締まる思いでした。

入学してから2か月と少し。子供たちは、ようやく小学校の生活に慣れてきたように感じます。

では、ここで、1年生の朝のルーティンを紹介したいと思います。まず、7時55分に玄関が開き、教室に到着したら、ランドセルを片付けます。次に、連絡帳や宿題を提出します。そして、次は、生活科の時間に植えたアサガオに水をやり、外へ行きます。たっぷり水をやって、ここで一息できたら順調です。8時10分のチャイムが鳴るころには、トイレや水分補給を済ませ、8時15分には落ち着いて席に座ります。一見簡単そうなこのルーティン。しかし、入学したての1年生にとってはなかなかタイトなスケジュールです。なぜなら、ランドセルを片付けている最中に、友達が登校してきたら、元気にあいさつしなければなりませんし、「今日もおにごっこしようね」と、友達と休み時間の約束もしなくてはなりません。また、連絡帳におうちの方からの連絡があれば、「先生に伝えなくちゃ」と私を探し、廊下に誰かのハンカチが落ちていれば、「誰のかな？」と、持ち主を探す旅に出ることになります。おもしろそうな会話が聞こえてきたときには、その友達のところへちょっと寄り道したくなったり、アサガオの水やりをしながら葉っぱに穴が開いていることに気が付いたときには、「虫に食べられたのかな？」と、じっくり考えたりもします。当然、その間は、手が止まってしまうから、なかなか先に進みません。しかし、子供たちにとっては、どれも欠かせない大切なことばかりなのです。そうこうしているうちに、あっという間に8時15分です。このように、1年生の朝は、なかなか忙しいのです。



時間よりも早く、何でもきっちりと終わらせる子、マイペースでのんびりしているけれど些細な変化にも気が付く子、何にでもすぐに興味をもち夢中になって取り組む子、教室には、本当にいろいろな子供たちがいます。友達からたくさんの刺激をもらって生活しています。たくさんの刺激があるからこそ、子供たちは日々成長することができるのだと思います。うまくできても、できなくても、そこから得るものは大きく、私の役目は、それを子供たちが学びとして自覚することができるよう、タイミングを逃さずに支援していくことです。そんな子供たちのたくさんの経験が重なって、いつか役に立つときがきたらいいなと思います。この先に立ちほだかるであろう様々な壁にも立ち向かえるように、たくさんの刺激を受け、たくさんの経験を重ねて、成長してほしいと願っています。

さあ、その第一歩。今日も子供たちは、8時15分の着席を目指してがんばっています。